



薬剤耐性(AMR)が問題になっています。

◆薬剤耐性菌とは

抗菌薬(抗生物質、抗生剤とも呼ばれます)に対し抵抗力を持ち、薬が効かなくなった細菌を指します。この薬剤耐性菌が増えると、感染症の予防や治療が困難となるケースが増えてまいりますので薬剤耐性の拡大防止は非常に重要です。

◆薬剤耐性菌が増えることでの主な影響

・感染症の病気が治りにくくなる。

病気に効果が見込まれる薬の種類が少なく、適した治療に時間がかかります。

・様々な医療が困難になる。

抗菌薬が効かないと感染症の予防や治療が難しくなり、さまざまな医療を安全に行えなくなってしまう。

◆薬剤耐性菌を増やさないためには？

- ・症状を医師に詳しく伝える
- ・抗菌薬は医師の指示(処方箋)通り最後まで飲み切る
- ・とっておいて、後で飲んだりしない
- ・人にあげたりもらったりしない
- ・わからないことは医師や薬剤師に相談する



※抗菌薬は「かぜ」には効きません。抗菌薬は「細菌」に対抗するために作られた薬です。かぜやインフルエンザの原因はほとんどが「ウイルス」なので、抗菌薬では全く効果がありません。

AMR臨床リファレンスセンター
(厚生労働省委託事業)ホームページ



定点 種別	期 間		2023年 41週		2023年 42週	
			10/9~10/15		10/16~10/22(最新)	
	疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O N F I D - 1 9	インフルエンザ		275	11.00	325	13.00
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		75	3.00	54	2.16
小 児 科	RSウイルス感染症		1	0.06	1	0.06
	咽頭結膜熱(プール熱)		14	0.88	26	1.63
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		55	3.44	75	4.69
	感染性胃腸炎		29	1.81	37	2.31
	水痘(みずぼうそう)		3	0.19	0	0.00
	手足口病		40	2.50	33	2.06
	伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		9	0.56	10	0.63
	ヘルパンギーナ		10	0.63	6	0.38
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)		2	0.40	10	2.00
基 幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00